





令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 綾部市立綾部中学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	本校 第1学年生徒 男子82名 女子90名 計172名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会）
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高め、心を育む。 (2) 講演を通して、今後予測不可な時代に自分の力を発揮できる生徒を増やし、学校の活力を高めていく。
5 取組内容	<p>(1) 講演会について 日 時：令和4年1月20日（木） 午後1時50分～同2時50分 ロンドン・リオデジャネイロオリンピック（レスリング）に出場された高谷 惣亮 選手（ALSOK）を招き、講演会を実施した。</p> <p>(2) 事前学習 資料（パワーポイント）・動画を用いて学習し、当日する質問を個人そして班活動で考えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>1年生共通目標 みんなが（で） 希望をもてる質問を考える</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>日本トップレベルの 人と触れることで あなたの「何かが」 必ず芽生え、必ず自分の 今後の人生の宝となる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>どんな言葉を発し どんな言葉を聴き どんな言葉を目 にするのかが大切か。</p> </div> </div> <p>(3) 実践の様子 ① 事前学習 事前学習として、これまでのオリンピック・パラリンピック</p>

	<p>講演会での学習の振り返りを行った。一昨年度は、パラリンピアン（陸上競技）の多川さん。昨年度はオリンピック（ソフトボール）の田本さん（コロナ禍のため中止）の学習で、何を学ぼうとしたのか、学んだことを振り返った。生徒からは、パラリンピアン、オリンピックの言葉を見て、当日、自分たちもオリンピックからの講演を楽しんでいる様子が見え、学習がとても有意義と感じられた。</p> <p>(4) これまでの心に残った言葉から ア「悔しい経験は自分の成長の糧になる」 イ「前向き、ポジティブは自分を変える」 ウ「努力できる環境に感謝すること」 エ「夢は自分一人だけのものではない」 オ「当たり前を再確認し、感謝を届ける」</p>
<p>6主な成果</p>	<p>(1) 当日を終えて</p> <p>① 成果</p> <p>自分の努力次第で結果につながると感じた生徒も多くいた様子であり、今後の学校生活や夢に向かっての意欲を持った生徒が多くいた。オリンピックの言葉は、生徒たちの心に大きく影響を与え、自分の目標達成に向けて努力するきっかけとなった。</p> <p>このことから、目標であった自分の力を発揮し活力を高めるといった潜在能力を引き出すきっかけとしては大いに成果が得られたと考える。講演後、様々な形ではあるが、何かに関わりたいと考える生徒が多くなった。特に「見る」、「知る」、といった関わり方に興味を抱いたようである。</p> <p>(2) 生徒の感想から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションの上げ方や緊張のほぐし方などたくさんのお話を聞きましたが、中でも私は「夢」についての話が特に心に残りました。「夢を叶えるために努力する」まさにその通りだと思いました。私の最大の欠点は、努力することが苦手なことです。まずは、その最大の欠点を改善したいです。そして、必要な力を身に付けていき、夢を叶えられる、強い心と身体、大人を目指します。 ・夢を叶える人生と目標を達成する人生が全く違うということにすごく共感しました。 ・失敗することは恥ずかしく、嫌で遭遇したくないと思っていたけど、失敗は成長するチャンスと捉え、それを糧に頑張らないといけないということが分かりました。ただの失敗で終わると何の意味もないので、考え行動していこうと思います。

	<p>(1) 印象に残った言葉から</p> <ul style="list-style-type: none"> ア「生き方」と「可能性」 イ「周りの人の声を聞き 緊張をコントロールする」 ウ「栄光に近道なし」 エ「なぜ失敗したかを考える」 オ「1度失敗したら次は成功する」 カ「逃げ道はたくさんあった方がいい→道はたくさんある」 キ「優しさと助け合い」 ク「夢を叶えるために努力する」 ケ「勉強は自分の選択肢、視野を広げる」 コ「夢がないときは、勉強して好きなことを見つける」 サ「日々の小さな積み重ねが自分を磨き上げる」 シ「落ち込んだら、1回リセットして自分を落ち着かせる」 
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) 工夫と今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「自律・自立の向上」「社会性の向上」につながるように一昨年度、昨年度の振り返りから学び、関心を持たせた。 ・個人、仲間と質問を考えさせることで、将来を見つめ、自らの生き方を考え、行動する力、目標実現のため主体的に努力する態度の育成にも努めた。
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) スポーツの価値の継承 各種目において、スポーツは精神的な充足感や楽しさ、自分・人に喜びをもたらす、人々が生涯にわたり心身ともに健康で生活を営む基盤でもあるため、どのように次代へ繋ぐか。</p> <p>(2) 今後について 予測不可能な社会を生き抜くために、生徒たちには、自己充実・自己変革を促す力などが大切になっていく。できる限り、体験談を通じて、苦しみや逆境に立ち向かう心づくりなどの育成を大切にしていきたい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックの機会を共生の大切さと捉え、被災地支援、地域の活力向上に努める。 ・将来、日本・地域がどのように変化し実を結ぶのか等、先をも見据え、都市、地域としてのあるべき姿、理想とする姿を考えさせる。